りそな　つみたてグローバル株式アクティブファンド

運用報告書（全体版）

第７期（決算日　2026年８月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「りそな　つみたてグローバル株式アクティブファンド」は、2026年８月20日に第７期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年８月28日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	りそな　つみたてグローバル株式アクティブファンド	・ＲＭグローバル厳選株式マザーファンドの受益証券
	ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	りそな　つみたてグローバル株式アクティブファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号
ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞
フリーダイヤル：0120-223351
（委託会社の営業日の午前９時～午後５時）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）		株式組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
3期(2022年8月22日)	18,416	0	△ 3.2	196,029.65	14.6	98.3	1
4期(2023年8月21日)	20,751	0	12.7	219,080.47	11.8	98.3	161
5期(2024年8月20日)	26,345	0	27.0	278,884.59	27.3	98.9	897
6期(2025年8月20日)	28,449	0	8.0	329,366.40	18.1	98.7	1,454
7期(2026年8月20日)	33,074	0	16.3	434,700.34	32.0	87.7	2,044

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
（注）ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

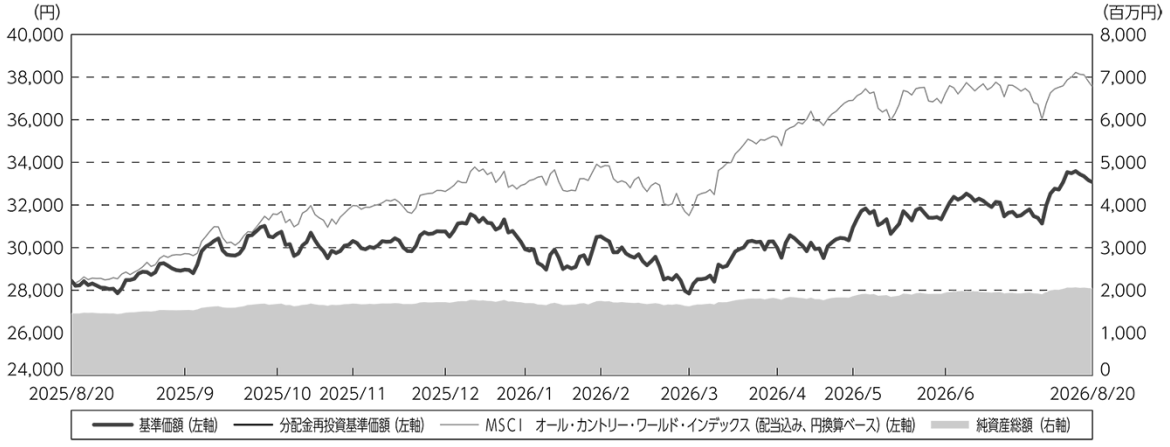
年月日	基準価額		MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）		株式組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率	
（期　首）	円	%		%	%
2025年8月20日	28,449	－	329,366.40	－	98.7
8月末	28,122	△ 1.1	330,608.35	0.4	98.8
9月末	28,966	1.8	344,059.89	4.5	98.5
10月末	30,646	7.7	365,357.23	10.9	98.7
11月末	30,308	6.5	370,171.20	12.4	98.7
12月末	30,757	8.1	377,851.92	14.7	98.6
2026年1月末	29,922	5.2	381,832.96	15.9	98.6
2月末	30,527	7.3	390,955.02	18.7	98.7
3月末	27,848	△ 2.1	364,794.84	10.8	98.5
4月末	29,983	5.4	407,279.45	23.7	98.5
5月末	30,946	8.8	427,358.38	29.8	98.6
6月末	31,727	11.5	431,088.94	30.9	96.7
7月末	31,396	10.4	425,161.94	29.1	95.5
（期　末）					
2026年8月20日	33,074	16.3	434,700.34	32.0	87.7

（注）騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2025年８月21日～2026年８月20日）

期中の基準価額等の推移



期　首：28,449円
期　末：33,074円（既払分配金（税引前）：０円）
騰落率：　16.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額およびＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、期首（2025年８月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。
（注）ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

AI関連投資の拡大を背景とした良好な企業業績や、想定を上回る底堅いグローバル景気を受けて株式市場が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期初は、底堅い企業決算を受けて投資家心理が改善したことから堅調に推移しました。期中は、中東情勢の悪化に伴う原油高からインフレ再燃や景気鈍化懸念が強まったことで下落する局面がありましたが、その後はAIや半導体関連株への成長期待や中東情勢の緩和期待などから再び上昇しました。期末は、米国のインフレ高止まりやAI関連株の過熱感から上値が重い局面もありましたが、幅広い業種での好決算が追い風となり上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル、ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、期初は、積極財政・金融緩和志向の高市政権の発足を受け、円安米ドル高が進行しました。期中は、日米金融当局によるレートチェック観測や日本当局による為替介入の動きなどで一時円高となる局面もありましたが、日米金利差の拡大観測や日本の財政悪化懸念を背景に、再び円安が進行しました。期末は、日米当局による円買いの協調介入を受け、円は下落幅を縮小しました。

ユーロに対して、期前半は、高市政権の財政拡張的政策から円が売られたことで、円安ユーロ高が進行しました。期後半は、インフレ圧力への対応として実施されたECB（欧州中央銀行）の利上げが、ユーロ高を支えました。期末は、日米当局による協調介入により、一時円高ユーロ安となったものの、ECBの追加利上げ観測が強まり、再び円安ユーロ高方向に戻しました。

新興国通貨について、米ドル安基調や投資資金の新興国シフトを背景に、中東危機による悪影響が懸念された一部アジア通貨を除き、中国元をはじめとする多くの新興国通貨は対米ドルで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

また、生成AIの急速な普及やグローバリズムの変容など、社会の構造変化が急速に進む中、それらの変化をポートフォリオに反映すべく銘柄入替を行い、パフォーマンスの向上に努めました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な保有銘柄は以下のとおりです。

＜プラス要因＞

■ キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手前に引き出す際のスムーズさや安定性は、重量のあるAIサーバーの需要が拡大する中で高い市場シェアを占める要因となっています。また、キッチン向けレールキットにおいても技術力を活かした高付加価値製品を展開しています。当期においては、AIサーバー向けレールキットの月次売上が連続して過去最高を更新し、AIインフラ関連部品の有力企業として評価が高まったことから、株価は上昇しました。

■ モノリシック・パワー・システムズ（米国）

デジタル技術を応用したアナログ半導体の設計・開発を行う企業です。デジタル技術を活用してアナログ回路を形成するという独自のコンセプトを基に、大幅なコスト削減や製造・管理の効率化を実現しました。その結果、家電向け製品からデータセンターや車載向け製品といった付加価値の高い領域へと、製品提供の場を広げています。顧客企業が求める性能や仕様に対して柔軟かつ迅速に試作品を提供する体制を整えており、早期の製品投入を支援する能力が評価されています。当期はAIサーバー向け製品の売上が伸長したことが好感され、株価が上昇しました。

＜マイナス要因＞

■ ペプチドリーム（日本）

次世代の創薬化合物として期待される特殊ペプチドの合成技術を強みとし、創薬関連ビジネスを展開しています。同社は特殊ペプチド製造に関する豊富な知的財産と高度な技術基盤を有し、多くの世界的な製薬企業との提携を通じて事業を拡大しています。当期は保守的な業績見通しが嫌気され、株価は軟調に推移しました。しかし、パイプライン（開発中の新薬候補化合物）は順調に拡大しており、中長期的な成長期待に大きな変化はないと判断しています。当ファンドでは、将来的な企業価値向上を見込み、保有を継続しています。

■ ガートナー（米国）

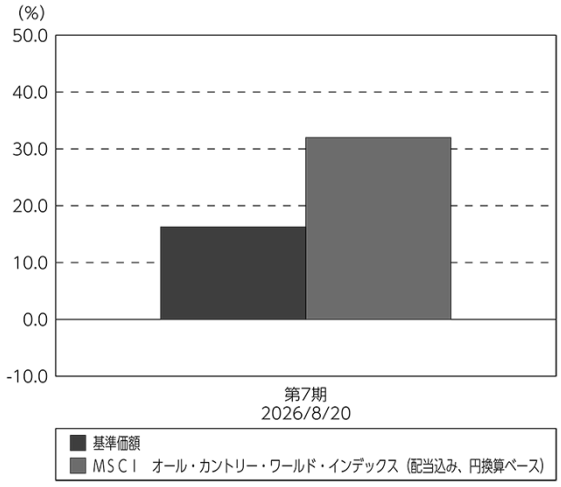
IT分野における調査・アドバイザリー事業を中核とする世界有数のリサーチ企業です。多数の調査アナリストを擁し、中立的な立場からITベンダーを評価するリサーチサービスに強みを有しています。近年では、財務や人事部門などに対してもリサーチサービスを提供し、事業領域を拡大しています。当期は、景気減速を背景とした顧客企業の支出抑制に加え、生成AIの進展が事業環境に与える影響への懸念から、株価は下落しました。当ファンドでは、こうした環境変化を踏まえ、同社株を一旦売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきました。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　目	第７期 2025年８月21日～ 2026年８月20日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	23,074

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

AI関連投資の拡大や、AIの普及による生産性向上を背景とした企業業績の成長期待を受けて、グローバル株式市場は引き続き底堅く推移することが期待されます。一方で、中東情勢の先行きには依然として不透明感が残るほか、AI・半導体関連銘柄に対する過度な期待を見直す動きもみられており、当面はボラティリティ（価格変動性）の高い相場展開が続くと予想されます。

このような環境下においても、短期的な市場動向に左右されることなく、独自の競争力評価フレームワークを活用し、グローバル市場において持続的な競争優位性を有する企業の発掘に努めてまいります。また、中東をはじめとする地政学リスクの動向やトランプ政権の政策動向、それらが経済・市場環境や企業・消費者行動に与える影響を注視しながら、企業の現在および将来の競争優位性への影響を多面的に評価してまいります。その結果、必要と判断した場合には、機動的かつ適切にポートフォリオの見直しを実施してまいります。

○１万口当たりの費用明細

（2025年８月21日～2026年８月20日）

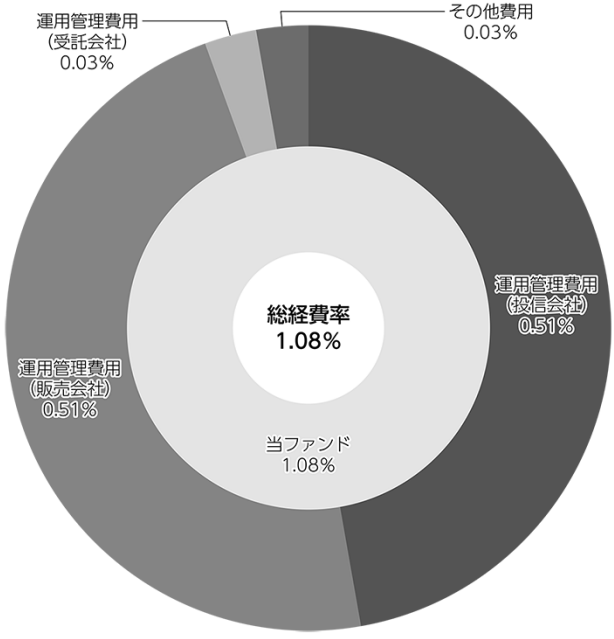
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	314	1.045	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(152)	(0.506)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（販売会社）	(152)	(0.506)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(10)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	342	1.136	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(342)	(1.136)	
(c) 有価証券取引税	124	0.412	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(124)	(0.412)	
(d) その他費用	8	0.027	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合計	788	2.620	
期中の平均基準価額は、30,095円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年８月21日～2026年８月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド	131,800	439,056	41,128	137,875

○株式売買比率

（2025年８月21日～2026年８月20日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	179,389,583千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	66,549,460千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.69

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月21日～2026年８月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2025年８月21日～2026年８月20日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2025年８月21日～2026年８月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2026年８月20日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド	462,248	552,920	2,041,549

○投資信託財産の構成

（2026年８月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド	2,041,549	99.3
コール・ローン等、その他	14,462	0.7
投資信託財産総額	2,056,011	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）ＲＭグローバル厳選株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（6,709,821千円）の投資信託財産総額（11,406,223千円）に対する比率は58.8%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=158.48円、1ユーロ=184.99円、1スイスフラン=198.32円、1香港ドル=20.21円、1フィリピンペソ=2.5635円、1新台湾ドル=4.956円。

○特定資産の価格等の調査

（2025年８月21日～2026年８月20日）

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月20日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,056,011,024
コール・ローン等	14,461,053
RMグローバル厳選株式マザーファンド(評価額)	2,041,549,635
未収利息	336
(B) 負債	11,473,303
未払解約金	1,899,635
未払信託報酬	9,512,674
その他未払費用	60,994
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	2,044,537,721
元本	618,168,820
次期繰越損益金	1,426,368,901
(D) 受益権総口数	618,168,820口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	33,074円

(注) 当ファンドの期首元本額は511,253,123円、期中追加設定元本額は193,792,781円、期中一部解約元本額は86,877,084円です。
(注) 当期末の１口当たり純資産額は3.3074円です。

○損益の状況 (2025年８月21日～2026年８月20日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	47,574
受取利息	47,574
(B) 有価証券売買損益	275,537,987
売買益	288,747,599
売買損	△ 13,209,612
(C) 信託報酬等	△ 18,234,863
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	257,350,698
(E) 前期繰越損益金	134,517,071
(F) 追加信託差損益金	1,034,501,132
(配当等相当額)	(690,842,349)
(売買損益相当額)	(343,658,783)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	1,426,368,901
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	1,426,368,901
追加信託差損益金	1,034,501,132
(配当等相当額)	(691,217,631)
(売買損益相当額)	(343,283,501)
分配準備積立金	391,867,769

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（16,035,880円)、費用控除後の有価証券等損益額（241,314,818円)、信託約款に規定する収益調整金（1,034,501,132円）および分配準備積立金（134,517,071円）より分配対象収益は1,426,368,901円（１万口当たり23,074円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

○お知らせ

・「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2026年４月１日)

＜当ファンドが投資対象とするＲＭグローバル厳選株式マザーファンドは以下の約款変更を行いました。＞
・「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2026年４月１日)

ＲＭグローバル厳選株式マザーファンド

運 用 報 告 書

第７期（決算日　2026年８月20日）
（2025年８月21日～2026年８月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2019年８月28日から無期限です。
運　用　方　針	①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 ＊上場予定、店頭登録予定を含みます。 ＊ＤＲ（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。 ②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。 ③株式の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 投 資 対 象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主 な 投 資 制 限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント株式会社

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率		
	円	%		%	%	百万円
３期(2022年８月22日)	19,663	0.0	196,029.65	14.6	98.4	9,858
４期(2023年８月21日)	22,452	14.2	219,080.47	11.8	98.4	21,433
５期(2024年８月20日)	28,797	28.3	278,884.59	27.3	98.9	36,298
６期(2025年８月20日)	31,420	9.1	329,366.40	18.1	98.9	57,159
７期(2026年８月20日)	36,923	17.5	434,700.34	32.0	87.8	5,323

（注）ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ＭＳＣＩ　オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）		株式組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率	
（期　首）	円	%		%	%
2025年８月20日	31,420	－	329,366.40	－	98.9
８月末	31,065	△ 1.1	330,608.35	0.4	98.9
９月末	32,029	1.9	344,059.89	4.5	98.7
10月末	33,920	8.0	365,357.23	10.9	98.8
11月末	33,571	6.8	370,171.20	12.4	98.8
12月末	34,098	8.5	377,851.92	14.7	98.7
2026年１月末	33,203	5.7	381,832.96	15.9	98.8
２月末	33,899	7.9	390,955.02	18.7	98.9
３月末	30,942	△ 1.5	364,794.84	10.8	98.4
４月末	33,351	6.1	407,279.45	23.7	98.6
５月末	34,456	9.7	427,358.38	29.8	98.7
６月末	35,364	12.6	431,088.94	30.9	96.9
７月末	35,025	11.5	425,161.94	29.1	95.6
（期　末）					
2026年８月20日	36,923	17.5	434,700.34	32.0	87.8

（注）騰落率は期首比です。

○運用経過

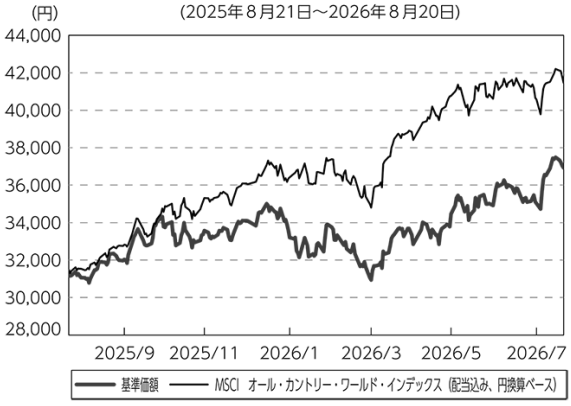
（2025年８月21日～2026年８月20日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

AI関連投資の拡大を背景とした良好な企業業績や、想定を上回る底堅いグローバル景気を受けて株式市場が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

基準価額等の推移
（2025年８月21日～2026年８月20日）



（注）参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一となるよう指数化しています。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期初は、底堅い企業決算を受けて投資家心理が改善したことから堅調に推移しました。期中は、中東情勢の悪化に伴う原油高からインフレ再燃や景気鈍化懸念が強まったことで下落する局面がありましたが、その後はAIや半導体関連株への成長期待や中東情勢の緩和期待などから再び上昇しました。期末は、米国のインフレ高止まりやAI関連株の過熱感から上値が重い局面もありましたが、幅広い業種での好決算が追い風となり上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル、ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、期初は、積極財政・金融緩和志向の高市政権の発足を受け、円安米ドル高が進行しました。期中は、日米金融当局によるレートチェック観測や日本当局による為替介入の動きなどで一時円高となる局面もありましたが、日米金利差の拡大観測や日本の財政悪化懸念を背景に、再び円安が進行しました。期末は、日米当局による円買いの協調介入を受け、円は下落幅を縮小しました。

ユーロに対して、期前半は、高市政権の財政拡張的政策から円が売られたことで、円安ユーロ高が進行しました。期後半は、インフレ圧力への対応として実施されたECB（欧州中央銀行）の利上げが、ユーロ高を支えました。期末は、日米当局による協調介入により、一時円高ユーロ安となったものの、ECBの追加利上げ観測が強まり、再び円安ユーロ高方向に戻しました。

新興国通貨について、米ドル安基調や投資資金の新興国シフトを背景に、中東危機による悪影響が懸念された一部アジア通貨を除き、中国元をはじめとする多くの新興国通貨は対米ドルで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

また、生成AIの急速な普及やグローバリズムの変容など、社会の構造変化が急速に進む中、それらの変化をポートフォリオに反映すべく銘柄入替を行い、パフォーマンスの向上に努めました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な保有銘柄は以下のとおりです。

＜プラス要因＞

■キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手前に引き出す際のスムーズさや安定性は、重量のあるAIサーバーの需要が拡大する中で高い市場シェアを占める要因となっています。また、キッチン向けレールキットにおいても技術力を活かした高付加価値製品を展開しています。当期においては、AIサーバー向けレールキットの月次売上が連続して過去最高を更新し、AIインフラ関連部品の有力企業として評価が高まったことから、株価は上昇しました。

■モノリシック・パワー・システムズ（米国）

デジタル技術を応用したアナログ半導体の設計・開発を行う企業です。デジタル技術を活用してアナログ回路を形成するという独自のコンセプトを基に、大幅なコスト削減や製造・管理の効率化を実現しました。その結果、家電向け製品からデータセンターや車載向け製品といった付加価値の高い領域へと、製品提供の場を広げています。顧客企業が求める性能や仕様に対して柔軟かつ迅速に試作品を提供する体制を整えており、早期の製品投入を支援する能力が評価されています。当期はAIサーバー向け製品の売上が伸長したことが好感され、株価が上昇しました。

＜マイナス要因＞

■ペプチドリーム（日本）

次世代の創薬化合物として期待される特殊ペプチドの合成技術を強みとし、創薬関連ビジネスを展開しています。同社は特殊ペプチド製造に関する豊富な知的財産と高度な技術基盤を有し、多くの世界的な製薬企業との提携を通じて事業を拡大しています。当期は保守的な業績見通しが嫌気され、株価は軟調に推移しました。しかし、パイプライン（開発中の新薬候補化合物）は順調に拡大しており、中長期的な成長期待に大きな変化はないと判断しています。当ファンドでは、将来的な企業価値向上を見込み、保有を継続しています。

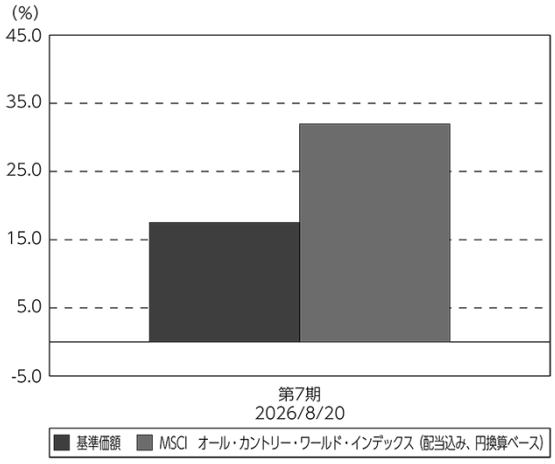
■ガートナー（米国）

IT分野における調査・アドバイザリー事業を中核とする世界有数のリサーチ企業です。多数の調査アナリストを擁し、中立的な立場からITベンダーを評価するリサーチサービスに強みを有しています。近年では、財務や人事部門などに対してもリサーチサービスを提供し、事業領域を拡大しています。当期は、景気減速を背景とした顧客企業の支出抑制に加え、生成AIの進展が事業環境に与える影響への懸念から、株価は下落しました。当ファンドでは、こうした環境変化を踏まえ、同社株を一旦売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。
AI関連投資の拡大や、AIの普及による生産性向上を背景とした企業業績の成長期待を受けて、グローバル株式市場は引き続き底堅く推移することが期待されます。一方で、中東情勢の先行きには依然として不透明感が残るほか、AI・半導体関連銘柄に対する過度な期待を見直す動きもみられており、当面はボラティリティ（価格変動性）の高い相場展開が続くと予想されます。

このような環境下においても、短期的な市場動向に左右されることなく、独自の競争力評価フレームワークを活用し、グローバル市場において持続的な競争優位性を有する企業の発掘に努めてまいります。また、中東をはじめとする地政学リスクの動向やトランプ政権の政策動向、それらが経済・市場環境や企業・消費者行動に与える影響を注視しながら、企業の現在および将来の競争優位性への影響を多面的に評価してまいります。その結果、必要と判断した場合には、機動的かつ適切にポートフォリオの見直しを実施してまいります。

○１万口当たりの費用明細

（2025年８月21日～2026年８月20日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	86	0.258	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(86)	(0.258)	
(b) 有価証券取引税	27	0.082	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(27)	(0.082)	
(c) その他費用	7	0.020	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(7)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合計	120	0.360	
期中の平均基準価額は、33,410円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年８月21日～2026年８月20日）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 2,655	千円 5,207,794	千株 5,274	千円 12,647,986
外国	アメリカ	百株 11,165 (726)	千米ドル 242,684 (－)	百株 27,006	千米ドル 440,336
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	375	11,692	903	31,072
	フランス	1,923	5,039	5,626	13,738
	オランダ	27	2,389	197	25,151
	スペイン	7,408 (12,875)	13,174 (－)	19,873	14,486
	スイス	0.31	千スイスフラン 3,702	1	千スイスフラン 11,026
	オーストラリア	1,750	千オーストラリアドル 15,185	3,374	千オーストラリアドル 22,808
	香港	9,019	千香港ドル 53,018	26,088	千香港ドル 125,620
	フィリピン	11,900	千フィリピンペソ 829,125	11,287	千フィリピンペソ 1,081,616
	台湾	2,870	千新台湾ドル 906,475	7,390	千新台湾ドル 2,594,056

（注）金額は受け渡し代金。
（注）（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2025年８月21日～2026年８月20日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	179,389,583千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	66,549,460千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.69

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注）外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月21日～2026年８月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年８月21日～2026年８月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2026年８月20日現在）

国内株式

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
医薬品（40.0%）				
塩野義製薬		744.8	－	－
ペプチドリーム		1,108.1	180.9	199,261
電気機器（29.1%）				
キーエンス		32.6	1.8	145,242
サービス業（30.9%）				
エムスリー		1,004	88	154,044
合計	株数・金額	2,889	270	498,547
	銘柄数＜比率＞	4	3	＜9.4%＞

（注）銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注）評価額欄の＜ ＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
DANAHER CORP		629	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WALT DISNEY CO/THE		1,061	92	985	156,125	メディア・娯楽
ECOLAB INC		468	34	981	155,485	素材
AMPHENOL CORP-CL A		1,197	55	862	136,727	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
GARTNER INC		362	—	—	—	ソフトウェア・サービス
HEICO CORP		—	25	935	148,306	資本財
BANK OF NEW YORK MELLON CORP		—	58	929	147,355	金融サービス
ORACLE CORP		515	64	929	147,343	ソフトウェア・サービス
SERVICENOW INC		129	80	1,022	162,095	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES		359	26	962	152,473	金融サービス
WABTEC CORP		—	31	912	144,634	資本財
ADOBE INC		344	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC		616	55	902	143,068	ヘルスケア機器・サービス
AXON ENTERPRISE INC		173	15	1,020	161,687	資本財
BROADCOM INC		—	24	871	138,042	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC		548	36	962	152,553	一般消費財・サービス流通・小売り
EXPONENT INC		1,796	144	1,008	159,808	商業・専門サービス
INTUITIVE SURGICAL INC		258	24	972	154,109	ヘルスケア機器・サービス
MICROSOFT CORP		—	19	937	148,517	ソフトウェア・サービス
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC		172	6	863	136,814	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP		722	84	1,844	292,277	半導体・半導体製造装置
STAAR SURGICAL CO		6,635	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	15,993	879	17,904	2,837,429	
	銘柄数<比率>	17	18	—	<53.3%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
HANNOVER RUECK SE		414	32	813	150,572	保険
RATIONAL AG		158	13	828	153,345	資本財
小計	株数・金額	573	45	1,642	303,917	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<5.7%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE		3,702	—	—	—	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	3,702	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV		175	5	761	140,839	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	175	5	761	140,839	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.6%>	
(ユーロ…スペイン)						
IBERDROLA SA		—	409	821	151,906	公益事業
小計	株数・金額	—	409	821	151,906	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<2.9%>	
ユーロ計	株数・金額	4,451	460	3,225	596,664	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<11.2%>	
(スイス)				千スイスフラン		
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-REG		0.87	0.08	752	149,295	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額	0.87	0.08	752	149,295	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.8%>	

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)		百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
WISETECH GLOBAL LTD		1,624	－	－	－	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	1,624	－	－	－	
	銘柄数＜比率＞	1	－	－	＜－%＞	
(香港)				千香港ドル		
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP		17,069	－	－	－	耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額	17,069	－	－	－	
	銘柄数＜比率＞	1	－	－	＜－%＞	
(フィリピン)				千フィリピンペソ		
INTL CONTAINER TERM SVCS INC		－	612	56,925	145,928	運輸
小計	株数・金額	－	612	56,925	145,928	
	銘柄数＜比率＞	－	1	－	＜2.7%＞	
(台湾)				千新台湾ドル		
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		3,336	126	29,610	146,747	半導体・半導体製造装置
KING SLIDE WORKS CO LTD		1,462	22	31,009	153,680	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
EMEMORY TECHNOLOGY INC		－	130	29,380	145,607	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	4,798	278	89,999	446,035	
	銘柄数＜比率＞	2	3	－	＜8.4%＞	
合計	株数・金額	43,937	2,230	－	4,175,351	
	銘柄数＜比率＞	26	27	－	＜78.4%＞	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2026年８月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	4,673,898	41.0
コール・ローン等、その他	6,732,325	59.0
投資信託財産総額	11,406,223	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
(注) 当期末における外貨建純資産（6,709,821千円）の投資信託財産総額（11,406,223千円）に対する比率は58.8%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=158.48円、1ユーロ=184.99円、1スイスフラン=198.32円、1香港ドル=20.21円、1フィリピンペソ=2.5635円、1新台湾ドル=4.956円。

○特定資産の価格等の調査

(2025年８月21日～2026年８月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月20日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,654,429,706
コール・ローン等	5,643,216,900
株式(評価額)	4,673,898,974
未収入金	3,335,923,752
未収配当金	1,298,102
未収利息	91,978
(B) 負債	8,330,718,737
未払金	2,248,494,163
未払解約金	6,082,224,574
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	5,323,710,969
元本	1,441,841,586
次期繰越損益金	3,881,869,383
(D) 受益権総口数	1,441,841,586口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	36,923円

(注) 当ファンドの期首元本額は18,192,220,819円、期中追加設定元本額は4,982,181,225円、期中一部解約元本額は21,732,560,458円です。

(注) 2026年８月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・りそなグローバル厳選株式ファンド（適格機関投資家専用） 882,775,878円
・りそな　つみたてグローバル株式アクティブファンド 552,920,845円
・グローバル株式厳選ファンド 6,144,863円

(注) 当期末の１口当たり純資産額は3.6923円です。

○損益の状況 (2025年８月21日～2026年８月20日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	604,352,908
受取配当金	592,842,157
受取利息	11,413,452
その他収益金	97,299
(B) 有価証券売買損益	10,276,513,358
売買益	20,590,292,258
売買損	△10,313,778,900
(C) 保管費用等	△　13,273,568
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	10,867,592,698
(E) 前期繰越損益金	38,967,284,731
(F) 追加信託差損益金	11,174,188,918
(G) 解約差損益金	△57,127,196,964
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	3,881,869,383
次期繰越損益金(Ｈ)	3,881,869,383

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

・「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2026年４月１日)